

千葉都市モノレール株式会社 第33期（平成22年度）決算の概要

平成23年6月30日
千葉都市モノレール株式会社

営業の概況

今期（平成22年度）は、これまでの黒字経営を堅持すべく、新たな視点に立った営業活動を展開し、安定した経営の確保に努めてまいりました。

特に「地域に根ざした千葉モノレール」「環境に優しい千葉モノレール」のスローガンのもと、従来の営業活動に加え新たな事業施策20項目を策定し、「つなぐ、めぐる、つどう」をキーワードに、人々が集う駅を目指し社を挙げて取り組んでまいりました。

営業面では、年度当初から景気回復の兆しもあり順調な伸びを見せ、夏の記録的な猛暑による出控え等の影響があったものの、秋に開催された千葉国体・千葉大会の利用者増により前期を上回る成績で推移しておりました。しかし、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後の営業実績は、計画停電の実施による列車運行本数の削減や利用者の出控え等もあり、大幅に減少する結果となりました。

設備面では、平成20年度から進めてまいりました電力管理システムの更新工事が今期末に竣工となりました。また、国の安全対策基準に基づく無線装置のデジタル化につきましては、機器の製作に加え防護無線の切り替え工事を完了したほか、安全・安定運行を確保するため、諸設備の計画的な更新、修繕を実施してまいりました。

営業実績（概要）

今期は景気回復の傾向と千葉国体・千葉大会の開催などにより、輸送人員・運輸収入ともに前期を上回る成績で推移しておりましたが、この震災により3月の営業実績が前期に比べ24万7千人の減、運輸収入では3千6百万円の減と大幅に減少したことから、ほぼ前期並みの実績に止まる結果となりました。

定期外輸送人員は対前期比1.78%の減少、同収入においても対前期比0.95%の減少となりました。

一方、定期輸送人員では、通学定期が対前期比0.79%の減少となりましたが、通勤定期が同0.92%の増加と堅調に推移したことから、定期輸送人員は対前期比0.63%の増加、同収入においても対前期比1.45%の増加となりました。

この結果、平成22年度の輸送人員全体では対前期比99.36%、旅客運輸収入も99.92%とほぼ前期並みの実績となりました。

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社 経営管理室

電話 043-287-8216

(参考)

輸送人員・運輸収入

	当 期	前 期	増 減	対前期比
輸送人員	(千人)	(千人)	(千人)	(%)
定期外	8,594	8,750	△155	98.22
定期	7,932	7,883	49	100.63
合計	16,526	16,633	△106	99.36
運輸収入	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
定期外	1,901	1,919	△18	99.05
定期	1,109	1,093	15	101.45
合計	3,011	3,013	△2	99.92
営業費	2,652	2,557	95	103.71

(単位未満の端数切捨)

【平成22年度の主な取り組み】

- ◆桜めぐりウォーキングの開催
- ◆僕も私も運転士の開催
- ◆各種イベント列車の運行
(歌声モノレール ビアトレイン等)
- ◆ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会開催記念入場券セットの販売
- ◆10並び記念硬券入場券の発売
- ◆オリジナルグッズの新規製作
(モノレール型ホッチキス モノちゃんマスコット等)
- ◆新規事業施策の実施
 - ・社長の机
 - ・都賀駅売店店舗を活用した有機野菜の販売
 - ・モノレール応援隊
- ◆精神障害者に対する運賃割引制度の開始
- ◆乗車マナーキャンペーンの実施
- ◆テロ等異常事態発生時対応訓練の実施
- ◆電力管理システムの更新